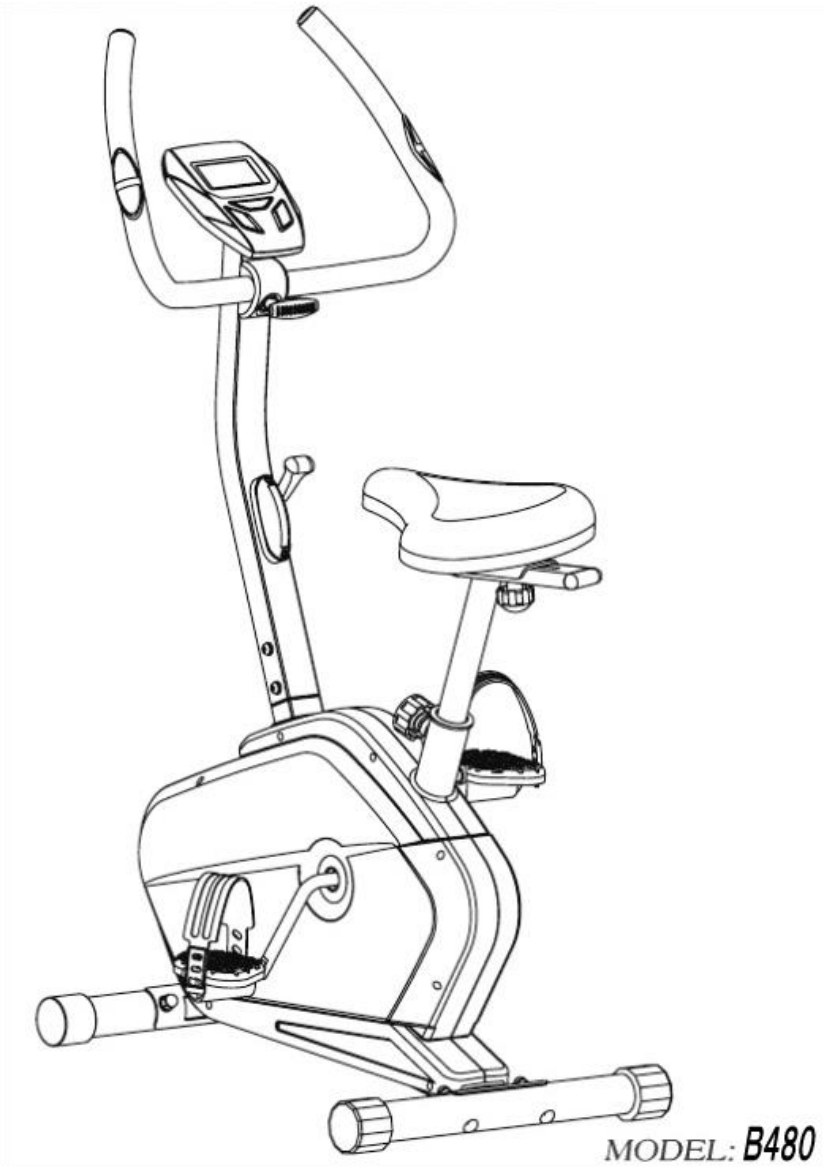
マグネットバイク　Item No：B480

取　扱　説　明　書



この度は、本商品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
組立及びご使用になる前は、必ずこの説明書をお読み頂き正しくお使い下さい。
取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管して下さい。

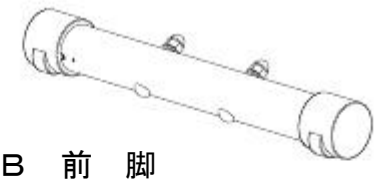
安全にご使用いただくために

① 使用前に各部のボルト・ナットが完全に固定されているか、ゆるみやガタつきがないか確認して下さい。
② 本製品の電子部品に水をかけたり、濡らしたりしないで下さい。また湿気の多い場所でのご使用は避けて下さい。誤作動や電子部品の破損の原因となります。
③ 平坦な床面に安定した状態で設置し充分に動く事が出来るスペースをとってご使用下さい。ご使用にあたっては、周りに人（特に幼児）が居ない事をご確認下さい。
④ ご使用の際は、運動に適した服装・シューズを着用して下さい。
⑤ 運動を始める前・後は筋肉を傷つけない様にウォーミングアップ、身体を休ませる為にクールダウンを行う事をお奨めします
⑥ 本製品の分解・修理・改造は絶対にしないで下さい。
⑦ 本製品は、家庭用の屋内で使用する為の製品です。専用のスポーツジムや学校・施設など不特定多数のご使用や屋外でのご使用はしないで下さい。
⑧ 飛び乗りや飛び降り、横向き・後向きでのご使用、複数人でのご使用もお止め下さい。
⑨ 運動中に目まいや吐き気、その他身体に異常を感じたら直ちに運動を止めて下さい。また、体調が優れないと感じた場合にはトレーニングを中止してください。
⑩ 本製品にお子様を乗せたり、悪戯をさせない様にご注意下さい。
⑪ 本製品には、重い部品や鋭利な部品がございます。成人が組立をして下さい。
⑫ 本来の目的以外では絶対に使用しないで下さい。
⑬ 本製品の連続使用時間の目安は、約 1 時間です。それ以上のご使用は故障の原因となる場合がございます。
⑭ 本製品は、体重１００ｋｇ以上の方のご使用はお控え下さい。

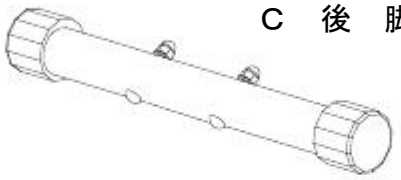
お手入れ上の注意

① 汚れや使用後に付いた汗等は、石鹸水を含ませて硬く絞った布で拭き、その後乾いた布で拭いて下さい。
② 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭いたりしないで下さい。
③ 油の塗布及び注油は行わないで下さい。

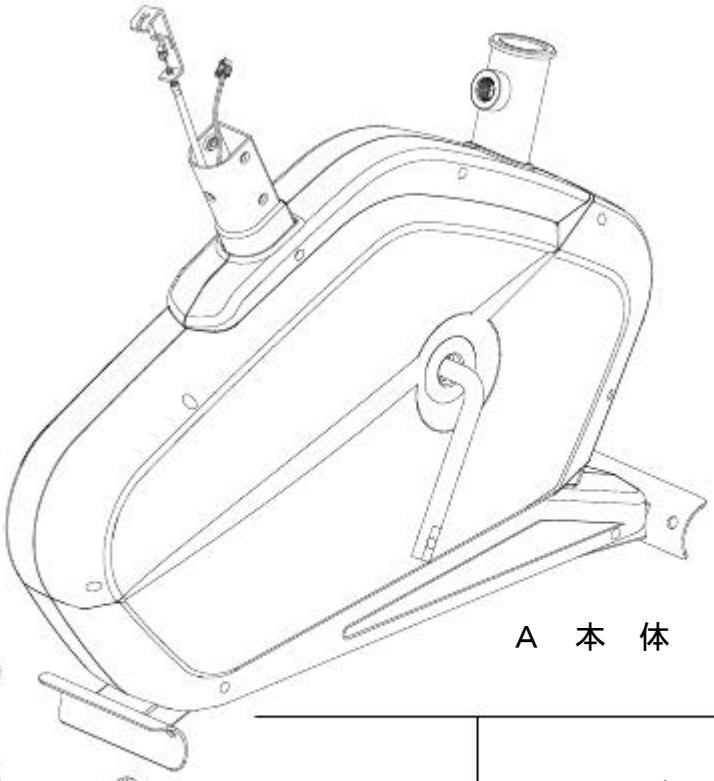
Parts List



B　前　脚

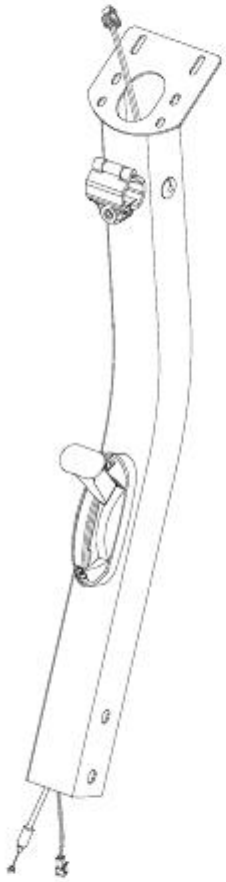


C　後　脚

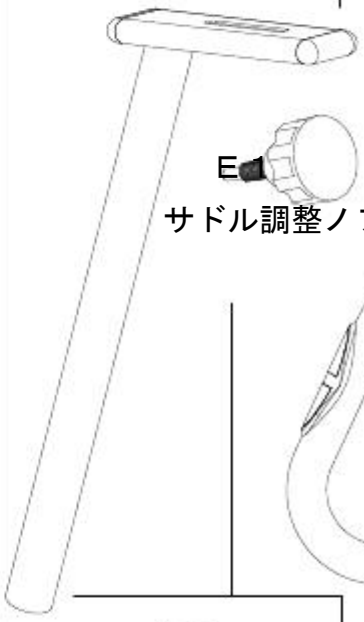


A　本　体

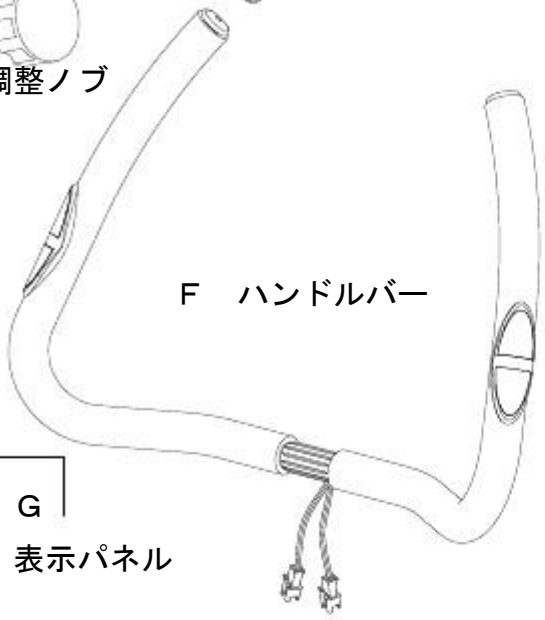
D　ハンドルポスト



E　サドルポスト



E
サドル調整ノブ



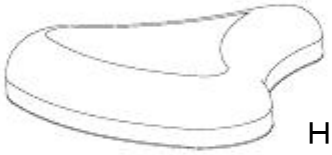
F　ハンドルバー

J１　ペダル（左）

J２　ペダル（右）

G
表示パネル

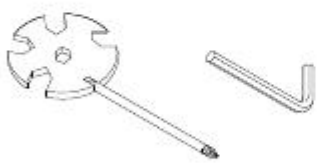
H　サドル



H１　サドル取付台座

H２　ワッシャー

H３　ノブ



K１　ノブ

K２　ブッシュ

K３　ワッシャー　M8×1.3T

K４　ハンドルバー
カバー

L１　ボルト　M10×57L

L２　カーブワッシャー　M10

L３　ナット　M１０

L４　ボルト　M8×15L

L５　スプリングワッシャー
M８

L６　ワッシャー
M8×1.5T

L７　カーブワッシャー　M８

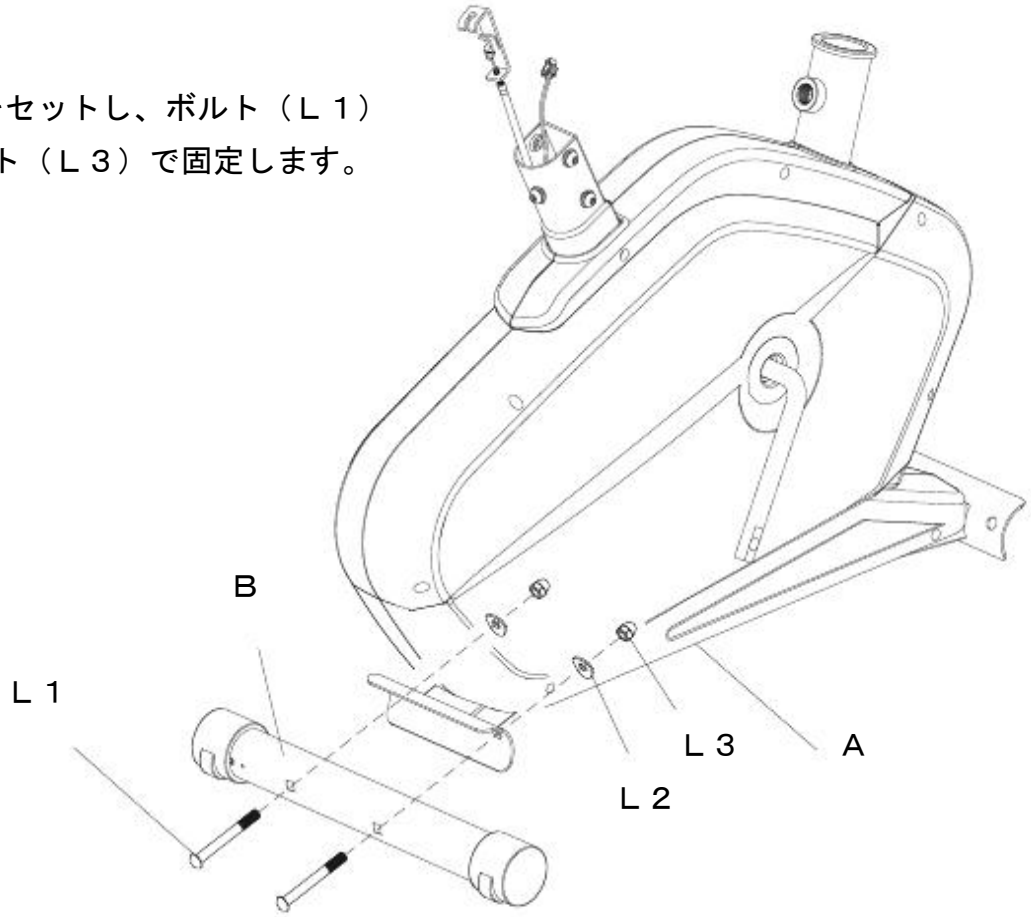
L８　ナット　M８

L９　ワッシャー　M8×2

FIGURE 1

１．前脚を取り付けます。

本体（Ａ）に前脚（Ｂ）をセットし、ボルト（Ｌ１）
ワッシャー（Ｌ２）・ナット（Ｌ３）で固定します。



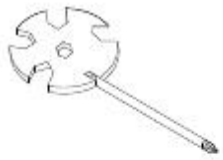


FIGURE 2

２．後脚を取り付けます。

本体（Ａ）に後脚（Ｃ）をセットし、ボルト（Ｌ１）
ワッシャー（Ｌ２）・ナット（Ｌ３）で固定します。

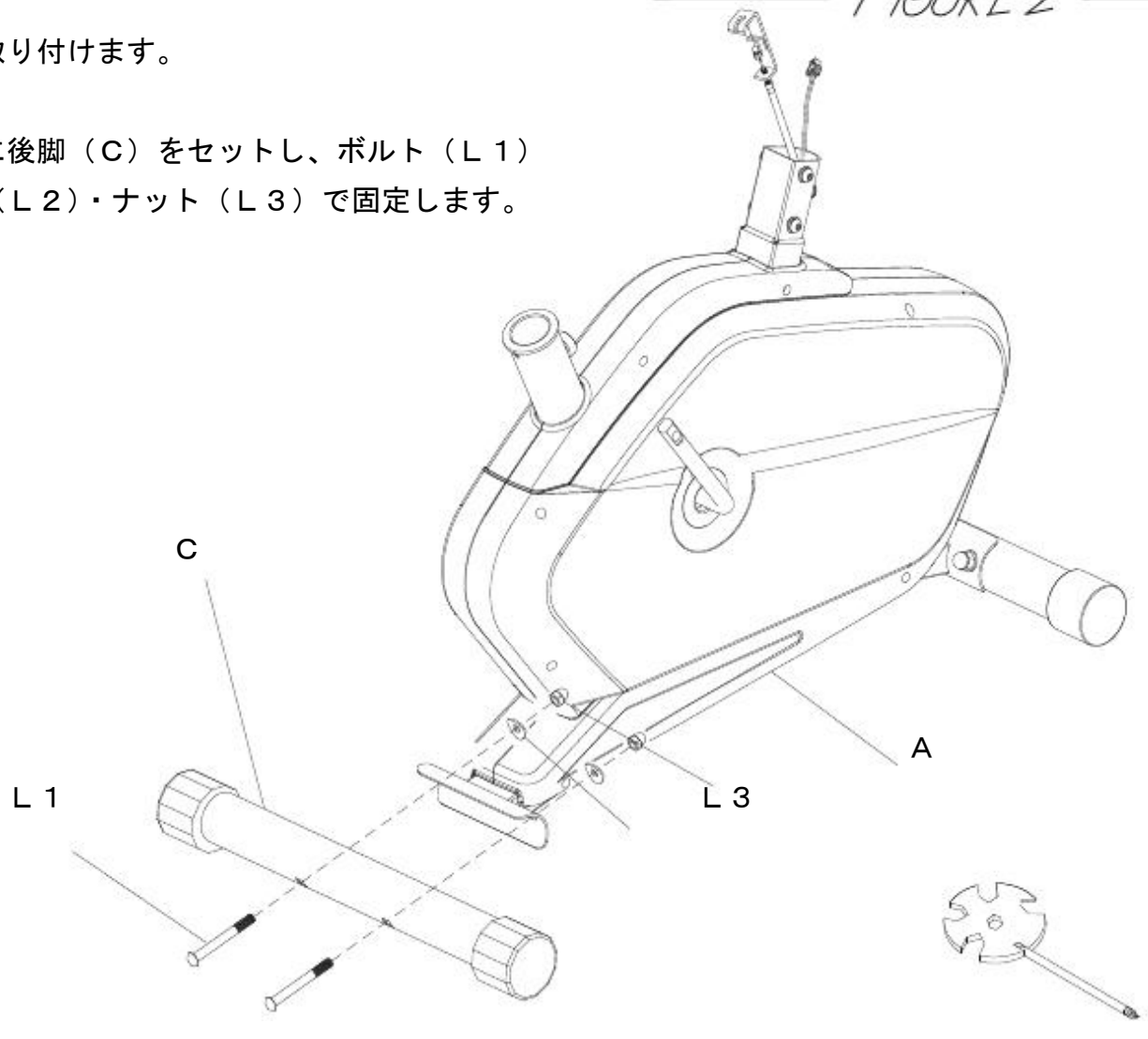


FIGURE 3

３．ハンドルポストを取り付けます。

① 本体に仮止めされていたボルト（Ｌ４）、スプリングワッシャー（Ｌ５）
　ワッシャー（Ｌ６・Ｌ７）を外します。
② 負荷調整レバー（Ｄ７）を一番軽いレベル１に合わせます。
③ 本体側の負荷ケーブル金具（Ａ１）にハンドルポスト側の
　負荷ケーブル（Ｄ１）を繋ぎます。図の様に金具にワイヤーを
　引っ掛けケーブルを引っ張ります。（図３の様にセットします）
④ 本体側のコード（Ａ２）とハンドルポスト側のコード（Ｄ２）を
　接続します。
　※確実に接続されていない場合、表示パネルにデータが表示されない
　　場合がありますのでしっかり接続して下さい。
⑤ ハンドルポストを本体に差し込みます。
　ケーブルを挟まない様に注意して下さい。
　①外したボルト（Ｌ４）スプリングワッシャー（Ｌ５）ワッシャー
　（Ｌ６・Ｌ７）で固定します。

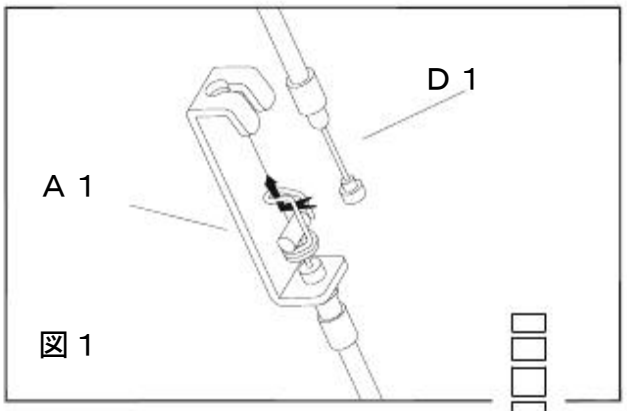


図１

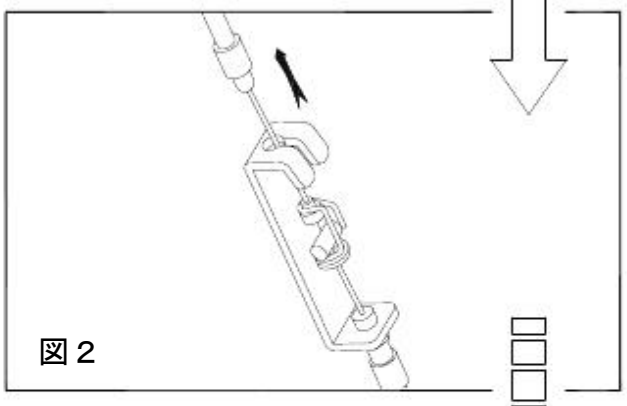


図２

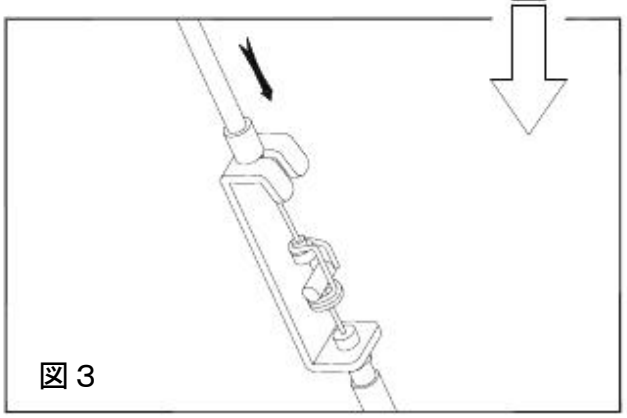


図３

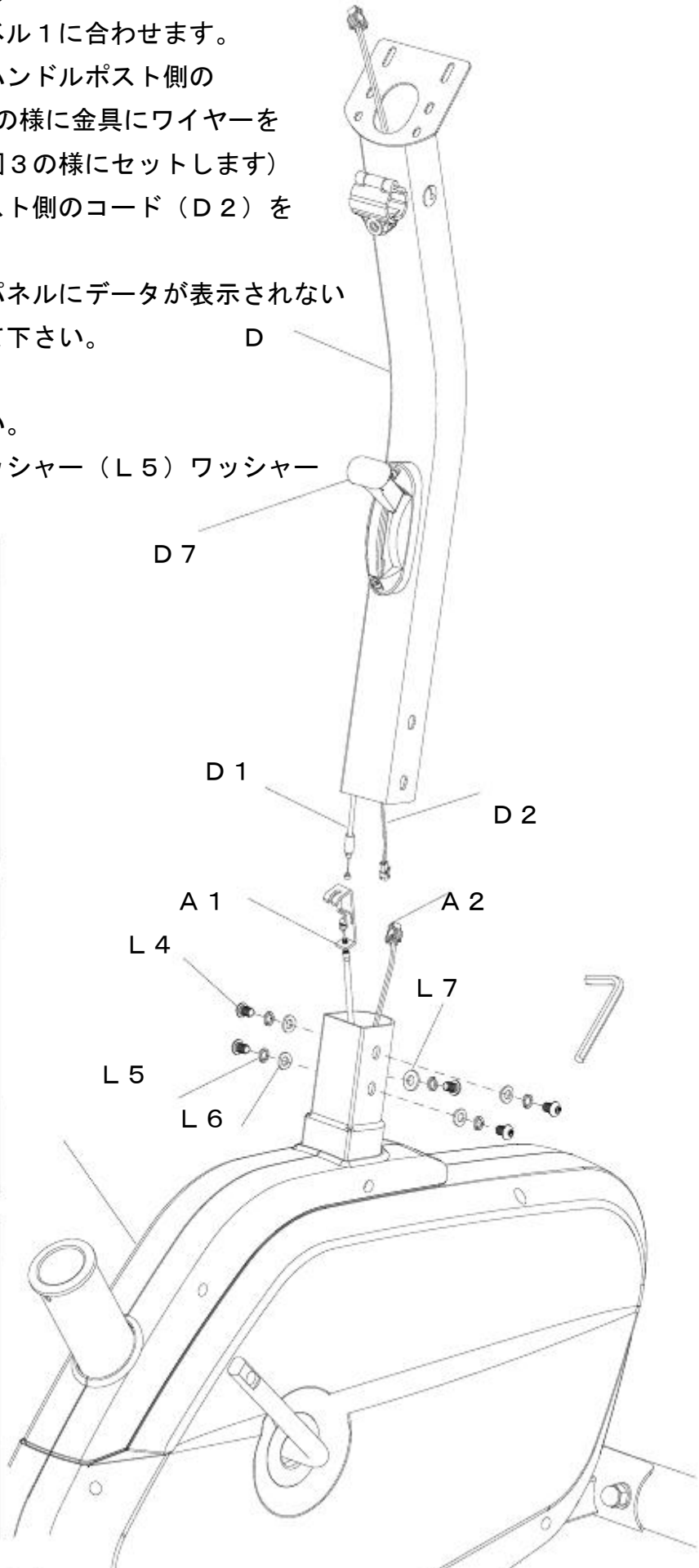
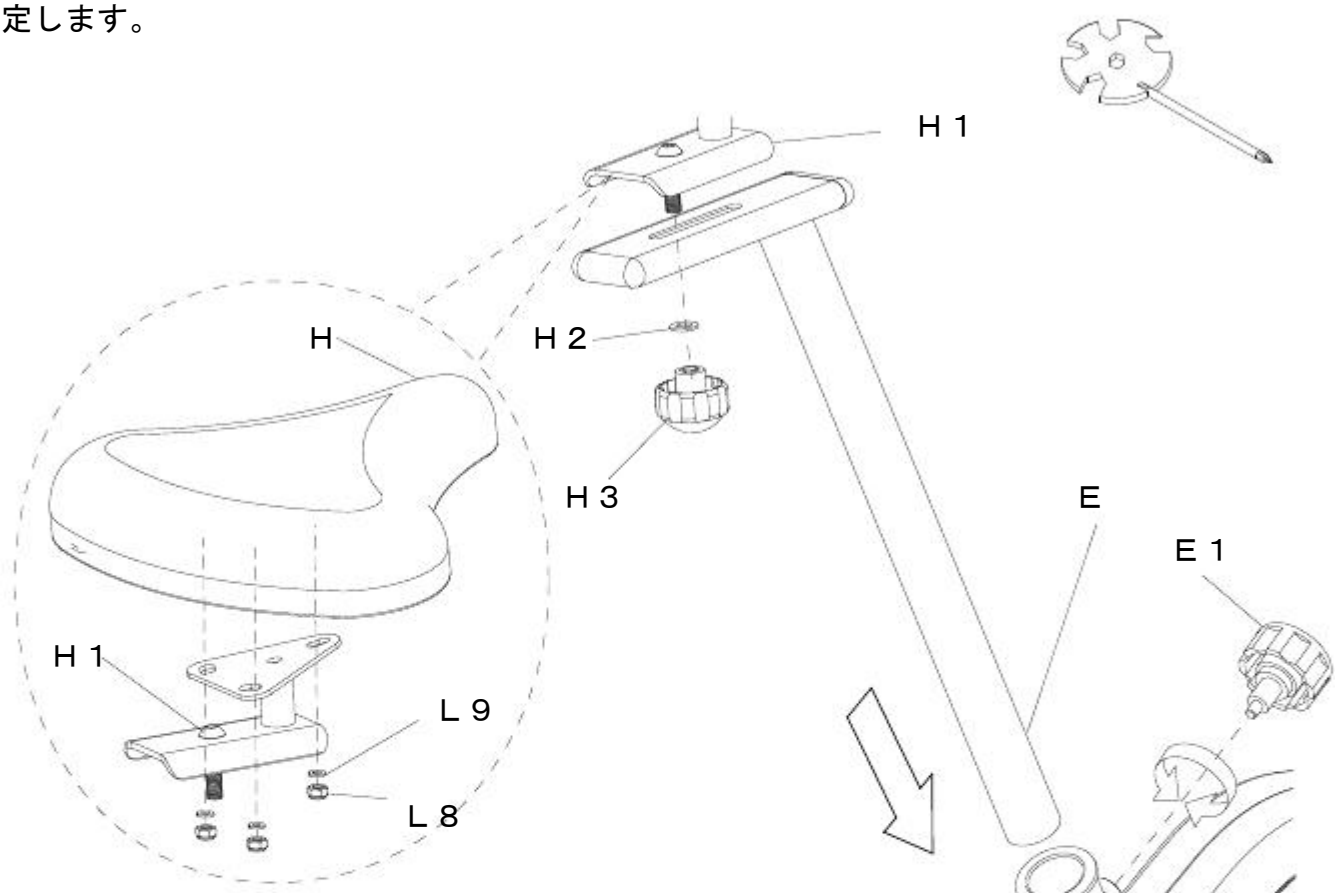


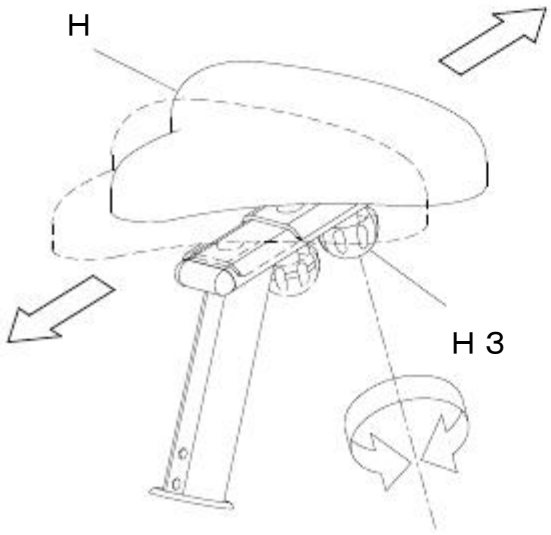
FIGURE 4

４．サドル・サドル取付台座を取り付けます。

① サドルポスト（Ｅ）を本体（Ａ）に差し込み、サドル高さ調整ノブ（Ｅ１）で固定します。
② サドル取付台座にサドルを取り付けます。ナット（Ｌ８）ワッシャー（Ｌ９）で固定します。
③ サドルとサドルポストを取り付けます。ワッシャー（Ｈ２）とサドル位置調整ノブ（Ｈ３）で固定します。



サドルの位置を調整する場合は、
サドル位置調整ノブ（Ｈ３）を緩め前後に調整します。
位置が決まりましたら、ノブを締め固定します。



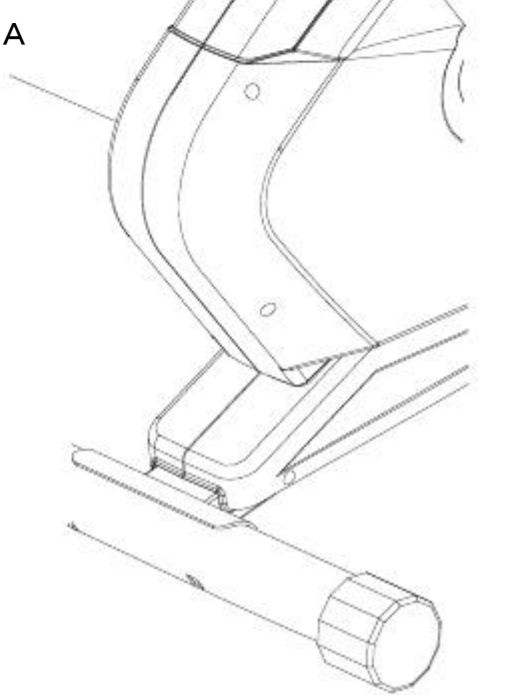


FIGURE 5

５．ハンドルバーを取り付けます。

① ハンドルバー（Ｆ）をハンドルポスト（Ｄ）の取付台座に取り付けます。
② ハンドルバー（Ｆ）をハンドル調整ノブ（Ｋ１）、ブッシュ（Ｋ２）、ワッシャー（Ｋ３）
ハンドルバーカバー（Ｋ４）で固定します。
※ハンドルバーとハンドルポストを取り付ける際、
ハンドルから出ているケーブルを挟まない様に
注意して下さい。

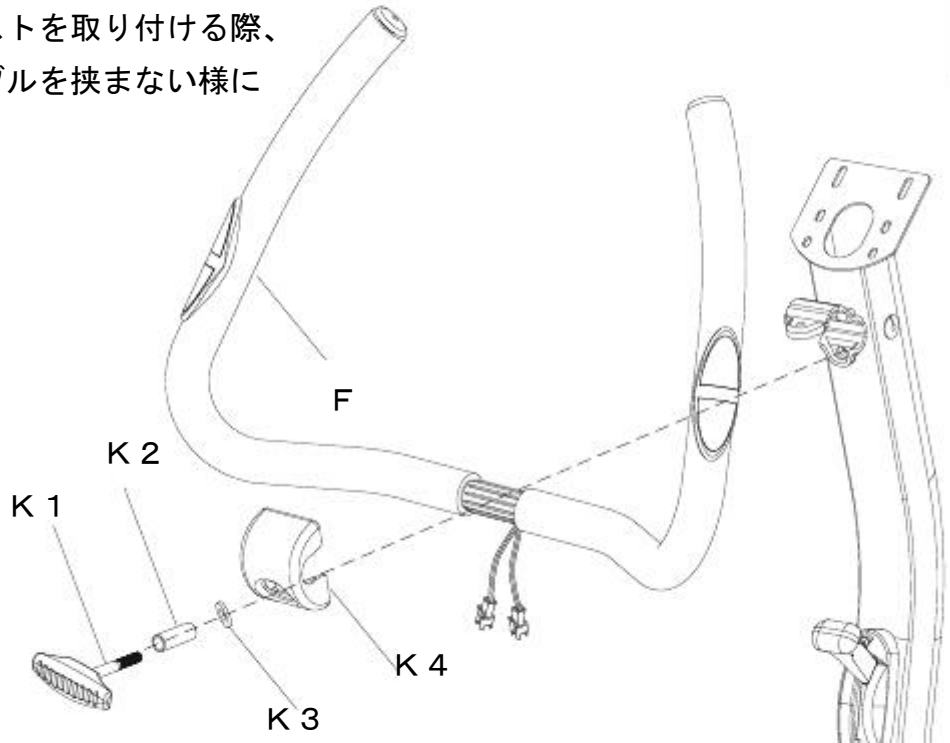
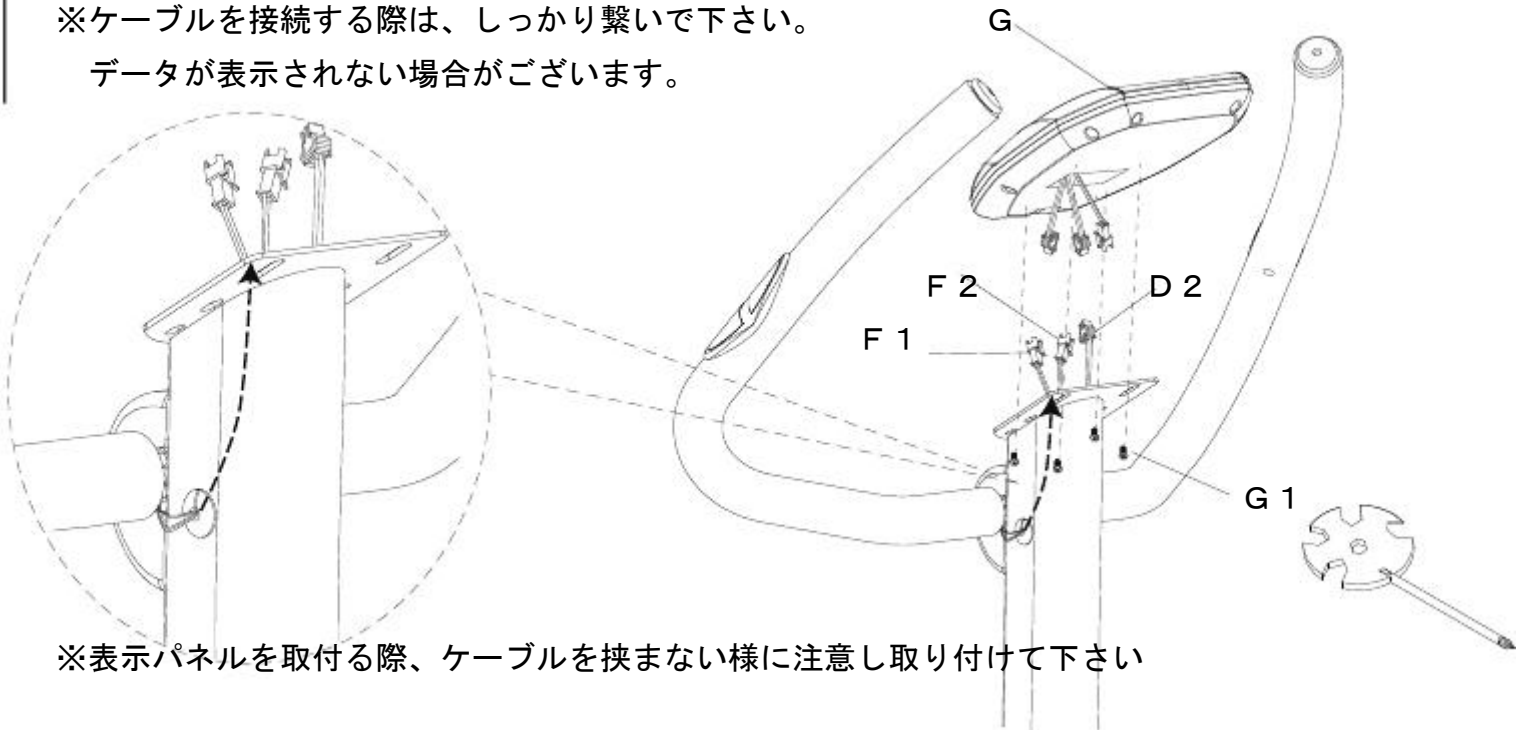


FIGURE 6

６．表示パネルを取り付けます。
① ハンドルバーから出ているケーブル（Ｆ１・Ｆ２）をハンドルポストの横の穴から上へ
出します。表示パネル（Ｇ）の裏側に仮止めされているボルト（Ｇ１）を外します。
② 本体側のセンサーケーブル（Ｄ２）と表示パネル側のセンサーケーブル（Ｄ２）を繋ぎます。
本体側の脈拍センサーケーブル（Ｆ１・Ｆ２）と表示パネル側の脈拍センサーケーブル（Ｆ１・
Ｆ２）を繋ぎます。表示パネルをハンドルポストの上に置き、②で外したボルトで固定します。
※ケーブルを接続する際は、しっかり繋いで下さい。
データが表示されない場合がございます。

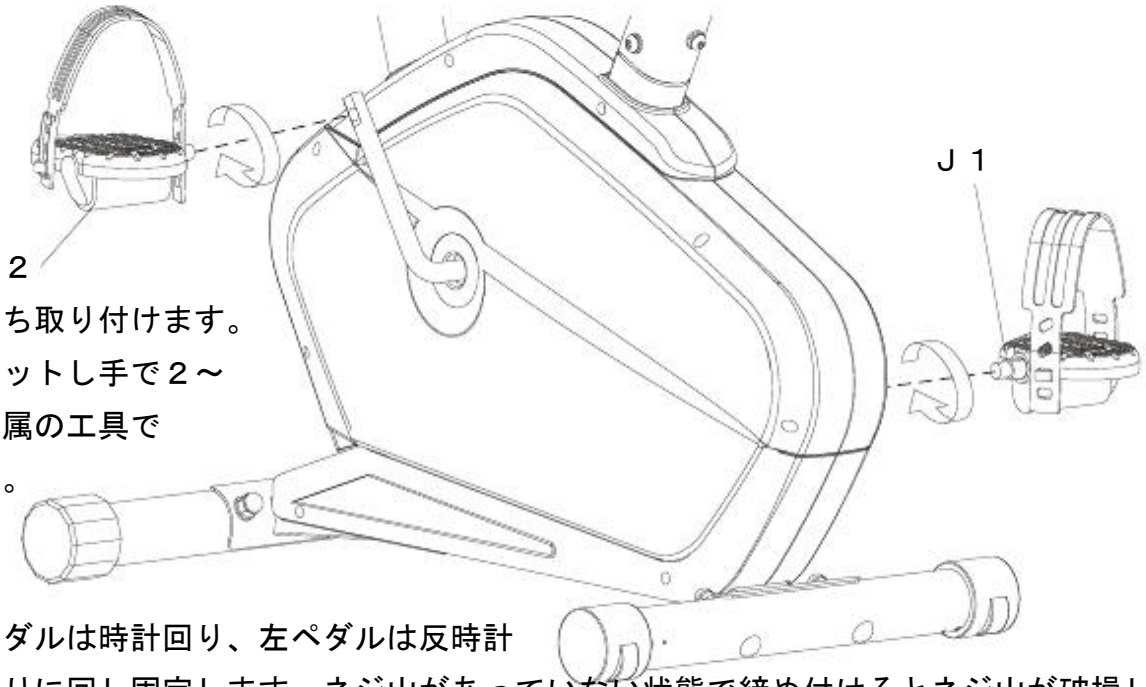


※表示パネルを取付る際、ケーブルを挟まない様に注意し取り付けて下さい

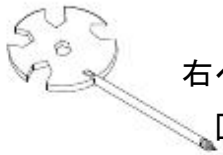
FIGURE 7

７．ペダルを取り付けます。

ペダルは、右・左があります。ペダルの軸に右（Ｒ）・左（Ｌ）と刻印があります。



ネジ山の付け根を持ち取り付けます。
ネジ山にまっすぐセットし手で２～
３回転させた後、付属の工具で
しっかり固定します。

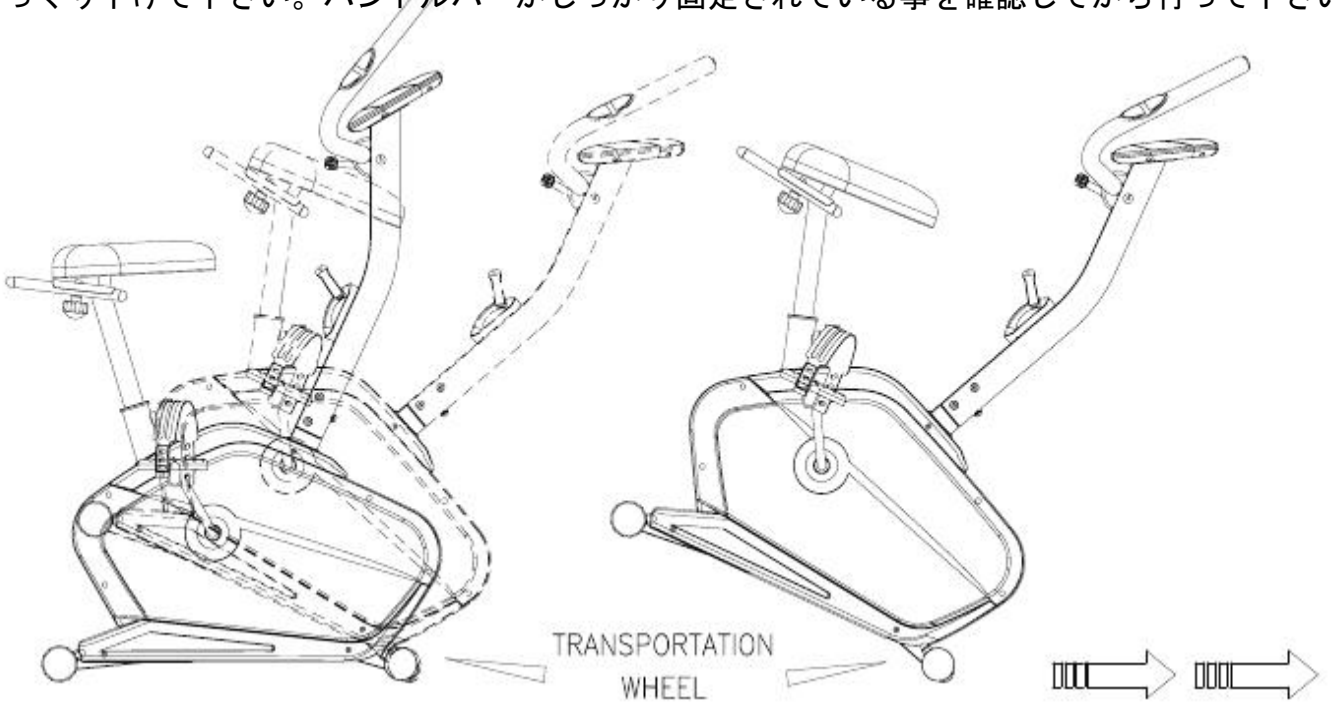


右ペダルは時計回り、左ペダルは反時計回りに回し固定します。ネジ山があっていない状態で締め付けるとネジ山が破損し取付が出来なくなる場合がございます。　ご注意下さい。

FIGURE 8

８．本体の移動方法

本体を移動させる場合には、フロントキャスターを使用します。
本体の前に立ち、ハンドルバーを持って前へ倒し移動させます。移動後、本体を下ろす場合にはゆっくり下げて下さい。ハンドルバーがしっかり固定されている事を確認してから行って下さい。



電源の入れ方・切り方

◎電源の入れ方　　表示パネルのボタンを押す。またはペダルを回すと電源が入ります。

◎電源の切り方　　オートオフ機能付の為、運動終了後、約４分経過後自動的に電源が切れます。

使用電源について

使用電源　　単３×２本

乾電池の交換方法

表示パネルの裏側にある電池ボックスの蓋を開けて交換します。
交換する場合には、全ての電池を新品の物と交換して下さい。＋－を確認の上入れて下さい。

※付属の電池は、テスト用です。表示が薄くなりましたら市販の新しい電池に交換してください。

運動を始めるには

１．本体に乗り、ペダルを回し運動を始めます。
　　表示パネルは、ボタンを押すかペダルを回すと電源が入ります。
２．目標設定をする場合には、運動を始める前にセットします。
　　ＭＯＤＥキーで設定項目に合わせ目標値を入力します。
３．運動状況を確認したい場合には、ＭＯＤＥキーで項目に合わせ確認します。
４．負荷を変更する場合には、負荷調整レバーを上下に動かしセットします。

表示パネルは、運動終了後、約４分経過すると自動的に電源が切れます。

表示パネルについて

ボタン機能

ＭＯＤＥ：表示項目を変更する時に使用。

ＳＥＴ：時間・距離・カロリー・脈拍数の目標値設定をする場合に使用。

ＲＥＳＥＴ：表示データをリセットする時に使用。
２秒以上長押しするとデータが全てリセットされます。
但し、累積距離はリセットされません。

表示機能

スキャン（ＳＣＡＮ）　表示項目が６秒毎に巡回表示します。
累積距離（ＯＤＯ）　今まで運動した累積距離を表示します。（表示範囲：0～9999ｋｍ）
走行距離（ＤＩＳＴ）　運動した距離を表示します。（表示範囲：0～999.9ｋｍ）
回転数（ＲＰＭ）　ペダル回転数を表示します。
運動時間（ＴＩＭＥ）　運動した時間を表示します。（表示範囲：00:00～99:59）
走行速度（ＳＰＥＥＤ）　現在の運動速度を表示します。（表示範囲：0.0～999.9ｋｍ／ｈ）
消費カロリー（ＣＡＬ）　運動中に消費したカロリーを表示します。（表示範囲：0～999.9）
このデータは、医療用データとしてではなく目安としてお使い下さい。
脈拍数（ハートマーク）　現在の脈拍数を表示します。
脈拍数を表示する為には、両手でハンドルの脈拍センサー部分をしっかり握ります。
ハートマークが点滅し測定します。

目標を設定した場合には、運動を始めると設定した項目データは減っていきます。
目標を設定しない場合には、運動を始めると設定した項目データは増えていきます。

トラブルがおこったら

ご使用中に異常が発生した場合、下記内容をご確認下さい。
トラブルが解消されない場合には、お買い求めの販売店・代理店にご相談下さい。

トラブル内容	原　　因	対　処　方　法
本体がぐらつく	１．床が平らでない。または前後部の脚の下に異物が入っている	異物を取り除く。平らな床面に設置する。
	２．後部固定脚の高さ調整が出来ていない	後部固定脚のエンドキャップを回し高さを調整する。
サドルが動く	１．サドルがしっかり固定されていない	サドル下のネジを確認し、緩んでいる場合には、締める
	２．シート調整ノブが締まっていない	シート調整ノブをしっかり締める
負荷が掛からない	１．負荷調整レバー側のケーブルと本体側のケーブルの外れ	負荷調整レバーの取付方法を確認（Ｐ４参照）
	２．負荷調整レバーの破損	負荷調整レバーの交換
	３．その他	販売店にご相談下さい
表示パネルが見えない	１．電池の消耗 （付属の電池はテスト用です）	表示パネル裏側の蓋を開け電池を交換して下さい。単３×２本
	２．表示パネルの破損	表示パネルの交換
運動中、数字が表示されない	１．本体からのケーブルが接続されていない。	表示パネル裏側に本体コードと脈拍コードが接続されているか確認。外れている場合には接続。接続されていても表示されない場合には、販売店にご相談下さい。
脈拍が表示されない	１．本体からのケーブルが接続されていない	表示パネル裏側の脈拍コードが接続されているか確認。外れている場合には接続。接続されていても表示されない場合には、販売店にご相談下さい。
	２．両手で握っていない。	片手では、表示されません。両手でしっかり握って下さい。
	３．手が乾燥している	冬場等、乾燥している時期は、感知し難い場合がございます。手を湿らせた状態で握って下さい。

上記対処方法にて解消されない場合には、詳しい状況を販売店・代理店にご連絡下さい。

メンテナンスについて

運動終了後は、本体に付いた汗を拭きとって下さい。やわらかな布または汚れが酷い時は、中性洗剤を付け固く絞った布で拭きます。
プラスチック部分には、研磨剤や溶剤を使用しないで下さい。
表示パネルには、湿気を与えないで下さい。電子部品が誤作動を起こす場合がございます。
また表示パネルに直射日光が当たらない様な場所に保管して下さい。
ボルト・ナットの緩みやペダルの緩みを確認して下さい。
安全の為、お子様が一人でご使用にならない様に気をつけて下さい。

品　質　保　証　規　定

◆ 取扱説明書の注意事項に従って正常な使用での故障に限り、お買い上げ後１年間無償で修理致します。(消耗品を除く)

◆ 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品に本書を添えてお買い上げ販売店にご相談下さい。
（※本製品は家庭用の為、業務用としてご使用の場合は保証対象外となります）

◆ 保障期間内でも次の場合は、有料修理となります。

① 誤用・乱用及び取扱不注意により故障

② 火災・地震・水害及び盗難等の災害により故障

③ 不当な修理や改造による故障

④ 使用中に生じた傷などの外観上の変化

⑤ 消耗品及び付属品の交換

⑥ 本証の提示が無い場合及び必要事項（お買い上げ日・販売店）の記入が無い場合

◆ 本証は日本国内の屋内においてのご使用のみ有効です。本証の再発行は致しません。大切に保管下さい。

◆ この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品　質　保　証　書

◆当社ではお買い上げ商品について万全をつくしております。万一故障が生じた場合は、本保証書に必要事項をご記入の上お買い上げ販売店に修理をご依頼下さい。

商品記号	B480　マグネットバイク	保証期間	お買い上げ日より1年間
ご購入年月日	平成　　年　　月　　日		
ご住所　〒			
ご氏名			
TEL　　（　　）		FAX　（　　）	
故障状況			
販売店			

※お買い上げ日・販売店名等のご記入がなきものは無効となります。

◆国内販売元◆

株 式 会 社　リ ン エ イ

〒432-8055　静岡県浜松市南区卸本町２５番地

TEL:053-441-2128（代）　FAX：053-441-7634